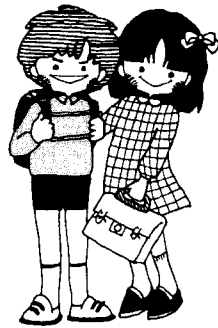


## 教えたり叱ったりしなければ

「心の教育」がさげばれて久しい。学校教育はもちろんのこと、家庭や社会で広く、多くの人々によって考えられ実践されてきた。さて、現実はどうだろうか。なかなか思うようにならないのが実際のところでしょう。ものの豊かさゆえに、心の貧しさが目立つ。よく、今の若者は礼儀をわきまえず、自制心に乏しく、人に対する思いやりの心が薄れていると言われる。

確かに、そういった現象は否定できない事実であろう。新聞の社会面を賑わすいろいろな事件もそういう姿を反映している。物の豊かさや少子家族による過保護な育児態度は、子どもの甘えを助長し、すべて受動的で他人からしてもらうことはあたりまえ、してもらえなければ腹が立つといった責任転嫁や無責任感がある。今こそ、学校、家庭、地域が連携して、豊かさの中に生きる人間の在り方を問わなければならないと思います。臨教審第二次答申の中にも、子どもたちの心の荒廃を克服していくためには、乳幼児期に親と子の基本的な信頼関係を形成するとともに、その上に立って適時、的確なしつけを行い、自己抑制力、他人に対する思いやりなどを身につけさせることが大切であるが、これは、親が果たすべき重大な責務で

あると提起しています。確かにしつけをしなければならぬことはわかっているが、具体的にどうすればよいのか、しつけそのものの中身、内容がわかっていない面が多いのではないだろうか。親自身が戦後の混乱でまともに親から「しつけ」られていない。なんでもかんでも体制反対と民主主義の美名のもとに、権利要求を身につ



けてきたが、社会規範を守り、秩序を維持し発展する努力や、他人に尽くし思いやる行為の体験は少ないのではないのでしょうか。

さて、先日JRの列車の中でこの、座席はほぼ満員、立っている客も大勢いました。勤め帰りの者、一杯機嫌の乗客、いつもの通りの列車風景、学習塾の帰りだろ

を空けるのか、その様子を見守っていたが、いっとうにその気配がない。その時、中学生に向かって「君たち満員のときは荷物はどうするものだ。棚の上に置きなさい」

三人はキョトンとした顔で私を見上げたが、次の瞬間、その意味を解したのか悪びれもなく、いたって素直に荷物を片づけた。私はその時つくづく思いました。一つひとつその時々に合わせて教えていけば分かるものです。教えなければ分からずに、そのまま大人になっていく。わからずじまいの大人がふえてくる。「子どもの自発性を待つ」「子どもの自主性を重んじる」。時と場合によっては人間形成にきわめて重要なことはお互いによくわかっていて、物事は教える適時性を失ってはならない。

戦後民主主義教育の心地よいお題目を唱えていけば、みんながみんな、よい子に育つというのであれば、これほど結構なことではない。だが、教えたり、叱ったりしなければ、社会に生きていく最低のルールさえ分らない子どもが現実には大勢いるわけです。子どもの自主性尊重の名のもとに、「管理教育」を悪玉に仕立て、ルールを守らせたり、叱ったりすることのでない親や教育現場の先生方の声が聞こえてくるようです。これをもって、戦後民主主義教育の輝かしい成果というべきだろうか、お互いにもう一度考える機会にした

### 3 国体チャリティ 親睦ゴルフ大会

都留ライオンズクラブ(会長 中村裕一)・都留ロータリークラブ(会長 長沼邦夫)・(社)都留青年会議所(理事長 森屋 宏)の各団体によるチャリティーゴルフコンペが十一月八日都留カントリークラブで行われました。

このチャリティーは、つる一丁目にある都留福祉作業所(会長 石田一夫)の運営に役立ててもらおうと初めて試みた大会で、それぞれの団体から寄せられた募金十五万円を石田会長に送りました。

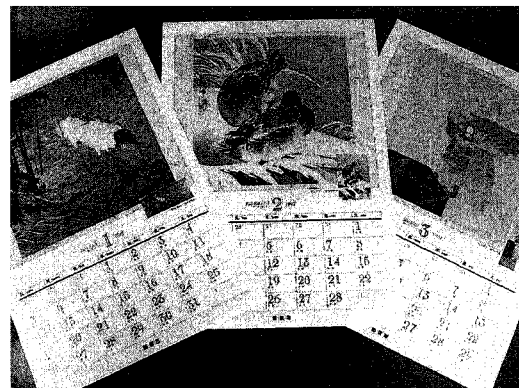
### 生涯学習 フェスティバル開催

心豊かな充実した人生をめざして、生涯学習フェスティバル「講演会・古典芸能(筑前琵琶)に親しむ会・写真展」を、二月二日に開催します。

### 都留大学吹奏楽部 第26回定期演奏会

日時 12月14日  
開場 午後1時 開演 1時30分  
会場 都留市文化ホール(うぐいすホール)大ホール入場無料  
曲目 バレエ音楽『ロデオ』ほか  
問合先 須佐美(43)9964

### 平成九年 ふるさとカレンダー 『ふるさと彩墨』



ふるさとの自然や歴史を題材に昭和五十六年から、毎年発行している『ふるさとカレンダー』も今回で十七回目となりました。

平成九年のテーマは、ふるさと都留で活躍された、近世の画家、米山朴庵、藤井霞郷、田中欄谷、曾根桂樹らの作品を抜粋し編集した『ふるさとの彩墨』です。

様式は、例年と同じくB3版で十四枚つづりとなっています。ふるさとカレンダーは、十二月中には、自治会を通じて市民の皆さんのお手元にとどく予定です。インテリアの一部として、お宅のどこかに飾っていただければ幸いです。

問合先 庶務課 広聴広報係